

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 ブロードメディア株式会社

コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 加納 彰

TEL 03-6439-3725

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,168	△17.8	338	—	360	—	282	—
21年3月期第2四半期	6,284	—	△524	—	△581	—	△388	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	4.23	—
21年3月期第2四半期	△7.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	8,609	5,505	59.4	76.63
21年3月期	8,836	5,270	54.8	72.57

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,113百万円 21年3月期 4,841百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△14.6	400 ～450	—	450 ～500	—	1,600	—	23.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	66,723,516株	21年3月期	66,723,516株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	66,723,516株	21年3月期第2四半期	52,690,540株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記業績予想につきましては、平成21年7月31日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年10月22日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、5ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

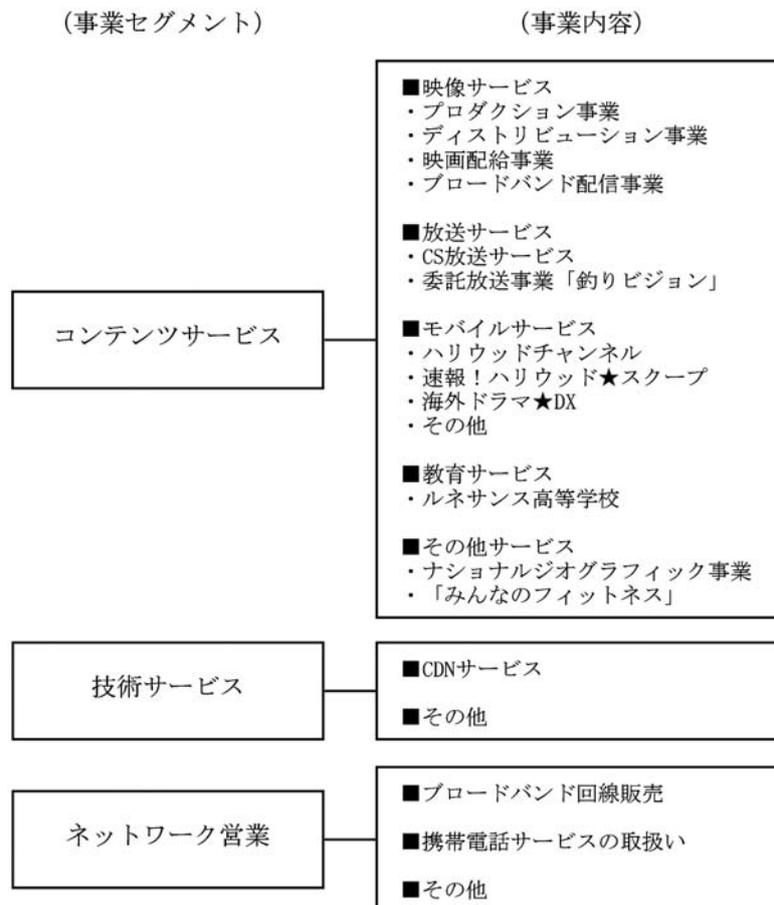
当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）における売上高は、前年同期と比べ1,116,606千円（17.8%）減少し、5,168,353千円（前年同期は6,284,960千円）となりました。また、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）においては、2,747,171千円となりました。これは、市況の悪化等の影響を受け、3つの事業セグメント全てにおいて売上高が減少したことによるものです。

営業利益は、当第2四半期連結累計期間において前年同期と比べ863,165千円増加し、338,650千円（前年同期は524,514千円の営業損失）となりました。また、当第2四半期連結会計期間においては、260,596千円の営業利益となりました。これは、コンテンツサービスの各事業において収益が改善されたことや、前年同期において多額の営業損失を計上していたGクラスタ・グローバル株式会社が連結グループから離脱したこと等が主な要因です。

経常利益は、上記営業利益の計上に加え、持分法による投資利益の増加等により、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ941,912千円増加し、360,718千円（前年同期は581,193千円の経常損失）となりました。また、当第2四半期連結会計期間においては、270,621千円の経常利益となりました。

四半期純利益は、上記経常利益の計上に加え、持分変動益の計上等により、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ670,501千円増加し、282,227千円（前年同期は388,274千円の四半期純損失）となりました。また、当第2四半期連結会計期間においては、204,382千円の四半期純利益となりました。

[セグメント別事業内容（平成21年9月30日）]



※平成21年9月28日付でルネサンス・アカデミー株式会社の株式を追加取得したことにより同社は当社の持分法適用関連会社から連結子会社に異動いたしました。当第2四半期連結累計期間においては、同社の四半期貸借対照表のみが連結され、四半期連結損益計算書においては、同社の業績は持分法投資損益として反映されております。

当第2四半期における事業の種類別セグメントごとの売上高及び営業利益の概況は以下のとおりです。

① コンテンツサービス

コンテンツサービスは、映像サービス、放送サービス、モバイルサービス及びその他サービスで構成されており、映画やドラマ等の映像作品の調達、テレビ番組の制作から、その作品の配給、販売、放送（委託放送事業）、更にブロードバンドや携帯電話向けの配信、及びCS放送視聴に関する独自の会員制サービスに至るまでの広範な事業を行っております。今回新たに加わるルネサンス・アカデミー株式会社の業績は、今後コンテンツサービスに反映される予定です。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、株式会社釣りビジョンや日本語字幕・吹替制作の増収があったものの、テレビ放映権販売や映画配給等の減収により、前年同期と比べ11.6%減少し、3,611,352千円（前年同期は4,083,767千円）となりました。また、第2四半期連結会計期間においては、1,992,437千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業利益は、株式会社釣りビジョン、テレビ放映権販売等の増益に加え、ブロードバンド配信や映画配給、及びナショナルジオグラフィックの収益改善等により、前年同期と比べ16.9%増加し、328,949千円（前年同期は281,471千円）となりました。また、第2四半期連結会計期間においては、260,588千円となりました。

② 技術サービス

技術サービスでは、「ブロードメディア[®]CDN」等のCDN（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク）サービスの提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、顧客企業の経費削減等が影響し、CDNサービスの売上高が減少したことにより、前年同期と比べて22.3%減少し、570,031千円（前年同期は734,010千円）となりました。また、第2四半期連結会計期間においては、278,524千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業利益は、Gクラスタ・グローバル株式会社が連結グループから離脱したこと等により、16,646千円（前年同期は812,882千円の営業損失）となりました。また、第2四半期連結会計期間においては、上記減収の影響により、117千円の営業損失となりました。

③ ネットワーク営業

ネットワーク営業では、ブロードバンド回線や、携帯電話サービス等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、個人消費の冷え込み等の影響を受け、ブロードバンド回線の販売や携帯電話サービスの取り扱い件数が減少したことにより、前年同期と比べ32.7%減少し、986,969千円（前年同期は1,467,182千円）となりました。また、第2四半期連結会計期間においては、476,209千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業利益は、上記減収の影響により6,945千円の営業損失（前年同期は6,896千円の営業利益）となりました。また、第2四半期連結会計期間においては、販売費及び一般管理費の削減等を行ったことにより、125千円の営業利益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は8,609,006千円、純資産残高は5,505,011千円でした。

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて529,435千円減少し、4,715,659千円となりました。これは受取手形及び売掛金が減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて302,009千円増加し、3,893,346千円となりました。これはソフトウェアの取得等により無形固定資産が増加したこと等によります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて227,425千円減少し、8,609,006千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて557,156千円減少し、2,666,715千円となりました。これは買掛金や短期借入金が増加したこと等によります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて95,586千円増加し、437,278千円となりました。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて461,570千円減少し、3,103,994千円となりました。

(ハ) 純資産

当第2四半期連結累計期間において、四半期純利益282,227千円計上したこと等により、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて234,144千円増加し、5,505,011千円となりました。これにより、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は59.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて88,495千円減少し、1,256,609千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、プラス672,181千円でした。当第2四半期連結累計期間においては、税金等調整前当期純利益を351,064千円計上したことに加え、売上債権の減少等もあり、営業活動によるキャッシュ・フローはプラスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス248,909千円でした。当第2四半期連結累計期間においては、ソフトウェア等固定資産の取得に174,640千円、投資有価証券や子会社株式の追加取得に136,800千円支出致しました。一方、投資有価証券の売却により69,626千円の収入がありました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス511,449千円でした。これは、当第2四半期連結累計期間において、短期借入金の残高が468,875千円減少したこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成21年7月31日に公表した平成22年3月期通期業績予想を下記の通り修正いたしました。

1. 平成22年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,500	百万円 300～350	百万円 350～400	百万円 1,600	円銭 23.98
今回修正予想(B)	10,000	400～450	450～500	1,600	23.98
増減額(B-A)	500	—	—	—	—
増減率(%)	5.3%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成21年3月期)	11,714	△393	△1,067	△904	△15.70

2. 修正の理由

売上高、営業利益及び経常利益につきましては、第2四半期連結会計期間末において当初予想を上回る進捗であったことから、前回発表の予想を上回る見通しとし、当期純利益につきましては前回発表の予想を据え置きます。

営業利益及び経常利益について、第2四半期連結累計期間に比べ、第3四半期連結会計期間以降の増益幅が縮小する見通しである理由は、利益率の高い取引が第2四半期連結会計期間に前倒しになった為です。また、当期純利益の予想を据え置いた点につきましては、前回見込んでいなかった増益による税金費用の発生が見込まれるためです。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

特に、下記要因により業績が大幅に変動する可能性があります。

- ・映画配給事業の売上が予想と異なる場合
- ・保有する投資有価証券の評価額の変動及び売却の有無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,947	1,395,442
受取手形及び売掛金	1,316,557	1,751,952
商品及び製品	32,071	36,452
仕掛品	116,521	97,169
原材料及び貯蔵品	6,984	11,200
番組勘定	1,214,226	1,282,511
その他	727,910	676,216
貸倒引当金	△5,559	△5,849
流動資産合計	4,715,659	5,245,095
固定資産		
有形固定資産	518,404	413,804
無形固定資産		
のれん	320,768	185,450
その他	234,670	138,095
無形固定資産合計	555,438	323,546
投資その他の資産		
投資有価証券	2,488,900	2,504,202
その他	398,321	693,402
貸倒引当金	△67,720	△343,619
投資その他の資産合計	2,819,502	2,853,985
固定資産合計	3,893,346	3,591,336
資産合計	8,609,006	8,836,431

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	659,264	997,337
短期借入金	828,770	1,297,645
未払法人税等	54,237	23,272
賞与引当金	120,899	104,864
その他	1,003,543	800,752
流動負債合計	2,666,715	3,223,871
固定負債		
退職給付引当金	26,519	24,580
役員退職慰労引当金	50,833	52,833
その他	359,925	264,279
固定負債合計	437,278	341,692
負債合計	3,103,994	3,565,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,633	2,666,633
資本剰余金	2,270,490	2,270,490
利益剰余金	497,875	215,647
株主資本合計	5,434,999	5,152,771
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△321,860	△310,981
評価・換算差額等合計	△321,860	△310,981
少数株主持分	391,872	429,076
純資産合計	5,505,011	5,270,867
負債純資産合計	8,609,006	8,836,431

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,284,960	5,168,353
売上原価	4,076,230	3,005,595
売上総利益	2,208,729	2,162,757
販売費及び一般管理費	2,733,244	1,824,107
営業利益又は営業損失(△)	△524,514	338,650
営業外収益		
受取利息	7,723	2,537
受取配当金	21	6
持分法による投資利益	37,002	56,096
その他	7,445	14,999
営業外収益合計	52,192	73,639
営業外費用		
支払利息	41,493	22,190
持分法による投資損失	33,181	26,931
株式交付費	16,303	—
その他	17,892	2,449
営業外費用合計	108,871	51,571
経常利益又は経常損失(△)	△581,193	360,718
特別利益		
投資有価証券売却益	23,233	15,711
貸倒引当金戻入額	891	—
持分変動利益	—	27,662
その他	2,990	12,252
特別利益合計	27,115	55,627
特別損失		
固定資産除却損	65,660	2,302
たな卸資産評価損	12,650	—
減損損失	25,197	20,657
投資有価証券売却損	—	8,189
投資有価証券評価損	6,673	11,384
事務所移転費用	—	6,961
固定資産臨時償却費	—	10,413
その他	483	5,372
特別損失合計	110,666	65,281
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△664,744	351,064
法人税、住民税及び事業税	134,891	38,278
法人税等調整額	△684	△1,216
法人税等合計	134,207	37,062
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△410,678	31,774
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△388,274	282,227

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,142,878	2,747,171
売上原価	2,036,124	1,600,145
売上総利益	1,106,753	1,147,026
販売費及び一般管理費	1,324,190	886,430
営業利益又は営業損失(△)	△217,437	260,596
営業外収益		
受取利息	5,273	729
持分法による投資利益	17,190	19,641
その他	1,496	8,892
営業外収益合計	23,960	29,262
営業外費用		
支払利息	8,606	11,002
持分法による投資損失	16,764	6,015
その他	21,652	2,220
営業外費用合計	47,023	19,238
経常利益又は経常損失(△)	△240,500	270,621
特別利益		
投資有価証券売却益	23,233	15,300
貸倒引当金戻入額	53	—
その他	1,361	2,031
特別利益合計	24,648	17,331
特別損失		
固定資産除却損	65,660	29
たな卸資産評価損	12,650	—
減損損失	25,197	20,657
投資有価証券評価損	6,673	11,384
固定資産臨時償却費	—	10,413
その他	—	5,281
特別損失合計	110,182	47,767
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△326,034	240,185
法人税、住民税及び事業税	93,013	17,931
法人税等調整額	△16,749	△1,362
法人税等合計	76,264	16,569
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△252,735	19,233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△149,563	204,382

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△664,744	351,064
減価償却費	142,074	97,914
固定資産臨時償却費	—	10,413
減損損失	25,197	20,657
のれん償却額	102,681	45,810
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,540	3,810
賞与引当金の増減額(△は減少)	50,709	6,539
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,166	△2,000
受取利息及び受取配当金	△7,744	△2,544
支払利息	41,493	22,190
持分法による投資損益(△は益)	△3,821	△29,164
持分変動損益(△は益)	—	△27,662
投資有価証券売却損益(△は益)	△23,219	△7,522
投資有価証券評価損益(△は益)	6,673	11,384
固定資産除却損	65,660	2,302
株式交付費	16,303	—
売上債権の増減額(△は増加)	453,910	440,619
たな卸資産の増減額(△は増加)	407,936	57,529
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,033	△338,073
未払又は未収消費税等の増減額	△10,777	4,356
その他の資産・負債の増減額	△120,050	△73,012
その他	21,887	2,300
小計	490,763	596,913
利息及び配当金の受取額	14,012	22,543
利息の支払額	△40,029	△14,697
法人税等の支払額	△56,350	67,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,395	672,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△380,379	△174,640
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	69,626
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,419	△69,055
子会社株式の取得による支出	△200,336	△67,744
子会社株式の売却による収入	153,600	—
定期預金の払戻による収入	11,529	—
出資金の払込による支出	—	△25,000
出資金の回収による収入	125	178
貸付けによる支出	△42,500	△8,000
貸付金の回収による収入	1,516	9,217
差入保証金の差入による支出	△26,816	△6,590
差入保証金の回収による収入	3,263	23,090
その他	—	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497,417	△248,909

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,966,737	△475,785
株式の発行による収入	3,483,709	—
社債の償還による支出	△2,000	—
配当金の支払額	△86,785	△2,453
その他	19,019	△33,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△552,793	△511,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,532	△319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△644,348	△88,495
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,752	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,975,888	1,345,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,347,291	1,256,609

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:千円)

	コンテンツサービス	技術サービス	ネットワーク営業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	4,083,767	734,010	1,467,182	6,284,960	—	6,284,960
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,083,767	734,010	1,467,182	6,284,960	—	6,284,960
営業利益又は 営業損失(△)	281,471	△812,882	6,896	△524,514	—	△524,514

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	コンテンツサービス	技術サービス	ネットワーク営業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	3,611,352	570,031	986,969	5,168,353	—	5,168,353
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,611,352	570,031	986,969	5,168,353	—	5,168,353
営業利益又は 営業損失(△)	328,949	16,646	△6,945	338,650	—	338,650

(注) 1 事業区分の方法

事業は、当社が顧客に対して提供するサービスの類似性に基づき、投入する経営資源の単位を勘案し区分しております。

2 各区分に属する主要なサービス

事業区分	主要な商品・製品及びサービス
コンテンツサービス	ブロードバンド及び携帯向けのコンテンツ配信 映画及びテレビ局向けコンテンツの配給 字幕・吹替等の制作 CS放送及びCATV向けの番組制作及び放映 CS放送関連サービス 通信単位制高校「ルネサンス高等学校」の運営
技術サービス	コンテンツ・デリバリー・ネットワーク・サービスの提供 「Gクラスタ」技術を活用したコンテンツ配信サービスの提供
ネットワーク営業	ブロードバンド回線の加入勧誘及び申込取次 携帯電話サービスの加入勧誘、申込取次及び携帯電話端末の販売代理店業務

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

売上高に占める本邦の売上高の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載は省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載は省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、記載は省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。